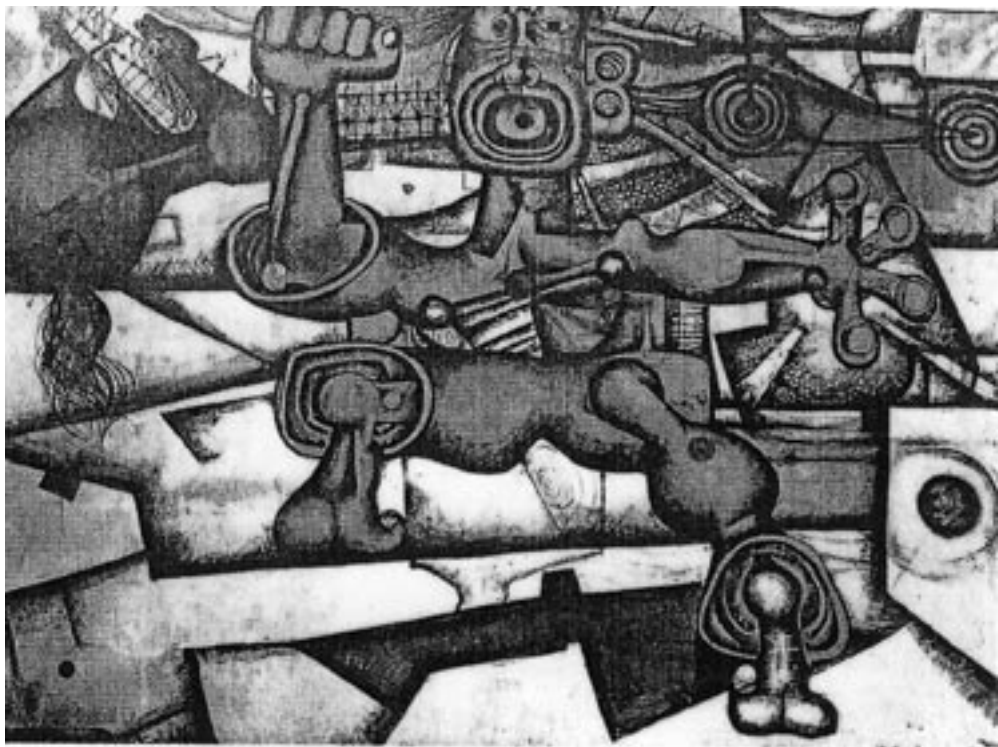


モウ

タクサンダ !!

# Ya Basta!!



(「尾藤 豊 作品集」から)

生・労働・運動 net jammers 07.春

URL <http://net-jammers.net/>

E-mail [jammers@net-jammers.net](mailto:jammers@net-jammers.net)

TEL・FAX 076-444-6093

# こちら ジャマーズ

***Ya Basta!!*** (モウ タクサンダ!!)

——世界の果ての果てにいたるまでの／人間存在の内の内にいたるまでの市場原理化をもくろむネオリベリズム／グローバリズムに抗して、世界各地の民衆の「もう一つ別の世界を作り出すことは可能だ」という〈声〉は、日増しに一つの大きな輪につながりつつあります。

この列島社会に生きる私たちもまた、その輪につながることを、心の底から希求しています。

## 生・労働・運動 net jammers

——私・たちは、ネオリベリズム／グローバリズムによるすさまじいまでの社会の解体・破壊のおしつけに／みにくいまでの競争へのかりたてに／心がちぢむまでの「自己責任の檻」へのとじこめに、あらがって、自らの生・労働の資本・国家からの自律（自己価値化）を求める者・たちの連結体です。

# 応答願います

## 万国のあぶれ者諸君 連結せよ

ジャマーズ



(「尾藤 豊 作品集」から)

**あぶ・れ** 【溢れ・散れ】〔下二〕《あぶし（溢）の自動詞形。一定の入れ物や枠に入りきれないではみ出し、はみ出したものは使いものにならなくなる意》①あまってこぼれる。②脱落して散らばる。失格してはみ出す。  
—もの【溢れ者】① 路頭に迷い、街頭で／を生きる者。①（本道から）はずれた者。わきまえを知らぬ者②浮浪無頼の徒。（「岩波・古語辞典」jammers 版）

# net jammers : 企画

## アンラーニング プロジェクト07 案内

\* unlearn → un (否定・反対の接頭辞) + learn (学ぶ)

知らず知らずの内に身につけた固定概念や偏見を、価値観や出自の異なる他者との出会い・対話などを通じて誤りだと認識し、自覚的に破棄すること；「学び 捨てる」

書物や学校から得た知識を経験と照らし合わせて取捨選択し、身の丈に即して 作りかえることで、「血肉」化する；「学びほぐす」

知識の習得・蓄積を行うだけの「学習」のあり方に対抗する、いわば、「脱学習」として 人々の精神を束縛する既成概念からの自己や他者の解放をめざすと共に、すでに確立 された知識・思考法を問いなおすことで社会の変革を志し、また、既成の制度では「知」の創造・享受から排除されている人々との新しい関係をつくりだそうとするという 積極的な意味が、近年、この "unlearn" という言葉に込められるようになってきている。(Jammer s版「現代キーワード辞典」)

今、私たちの生きるこの日本社会の中で進行する、私たちの生活に不可欠な社会保障・福祉の大幅な縮小・「(擬)市場化」や、労働条件の劣悪化の制度的な「合法化」と労働者保護の壊滅的な破壊によって、私たちの生きること自体が、ますます不安定で、絶えざる不安と緊張を強いられるものになっています。同時に、この日本社会を生きる私たちが負わされる生きがたさが、もっぱら個人の能力・努力の不足や「キャリアアップ」の失敗に帰せられて「断罪」され、「個人化」されることで、それが「社会問題」化されるどころか、私たちが生きることの困難を自ら訴えるという回路さえも絶たれてしまっています。

しかし、それでもなお、このような状況に対して、私たちが怒りを失わず、抵抗・反撃を試みようとするのであれば、私たちの生きることの全領域を「市場化」し、私たちの存在を資本にとっての単なる「資源」・「消耗品」へと貶めることで、「社会」そのものを否定・消滅させようとするネオリベリズムそれ自体を疑問に付し、それと対決することが不可避のはずです。それは同時に、私たちの心中に巣くひ、私たちの精神を大きく束縛している、自分の生きがたさを個人的な不幸や「自己責任」とする発想を否定し、自分の生きがたさをただ堪え忍ぶか、社会からこぼれ落とされることを恐れて過酷な労働へと自らを駆り立てるしかないというあり方と決別することでもあるでしょう。

そのためにも、この社会のあり方に対する私たちの疑問や怒りを交差させ、また、私たちの生きがたさを個人の能力や労働の「成果」の差に応じた適切な処遇だとして「正当化」・「個人化」しようとする巨大な力に抗して、人間の生・老・病・死を共同で支えあう空間としての「社会」を私たちがどのように再形成しようとするのかを語りあい、ネオリベリズムに対抗する「知」やことばを生産するための、自律的な「討議空間」をつくることが強く求められているように思っています。

このような思いから、生・労働・運動 net jammers では、「アンラーニング・プロジェクト」07をスタートさせます。多くの皆さんが、私たちの「討議空間」に参加されるよう呼びかけます。なお、「アンラーニング・プロジェクト」07のプログラムについては、次ページをご覧ください。



**A. 現代日本社会論入門 07年3月～8月**

—— 反ネオリベ的遠近法を獲得するために

**I 「日本型雇用システム」の解体と再編**

1. 労働経済の視点から 4—6月

2. 労働法の視点から 3—5月

II ポスト福祉国家—日本の場合 7月

III 日本型ネオリベラリズムの転回・展開 8月

\* なお、07年9月～12月にかけての時期には、「もう一つ別の世界をつくりだすことは可能だ—現代日本社会運動入門・第1期」を行うことを予定しています。

**連続学習会・現代日本社会論入門**

**「日本型雇用システム」の解体と再編**

—— 労働経済の視点から・第1回

話し手： 坂 幸夫さん（富山大学・労働経済論）

日時： 4月1日（日）午後2：00～4：00

会場： 生・労働・運動 netjammers

事務所2F集会室

# ジャマーズ・マーチ計画

次ページ参照

キッ キッ キッ  
わたしら ネズミ ドブネズミ  
笛吹き男の のどくびねらう  
ジャッ ジャッ ジャマーズ!!

キッ キッ キッ  
わたしら ネズミ ドブネズミ  
猫なで声をよみやぶる  
ジャッ ジャッ ジャマーズ!!

- 「地獄への道」は、「自己責任」でぬりかた  
められているガヤ
- 「地獄への道」は、「自立支援」でぬりかた  
められてるダジ

キッ キッ キッ  
わたしら ネズミ ドブネズミ  
世界を底からくいかじる  
ジャッ ジャッ ジャマーズ!!

「ミッキーマウスのプロレタリア宣言」 jammers 版 変奏曲

## 「ジャマーズ語 辞典」 編集協力者を求めています

ネオリベラリストは、ことばの横領・逆用が大得意。——例えば、「解雇」を「減量化」などと言うように、とりわけ、様々な社会運動が作り出してきたことばを逆用し、それを使って、その統治の力を強めるのが、常套手段だ。ある人は、ネオリベラリズムの基本的な語彙は、ほとんどアナーキズムのそれからの盗用だ；と言っている。

もともと、ネオリベラリズムじたいが、〈1968〉年を画期とする国家・社会批判に対する反(転された)革命を出自としているのだから、当然と言えば当然なのだろう。もちろんだからと言ってほっておいてよいわけではない。そこで、ネオリベラリズムの得意とすることばを、どんな「ジャマーズ語」に「翻訳」して、例えば「リストラ」とは「職場殺人」というように「ジャマーズ語辞典」を編集することを、企画している。

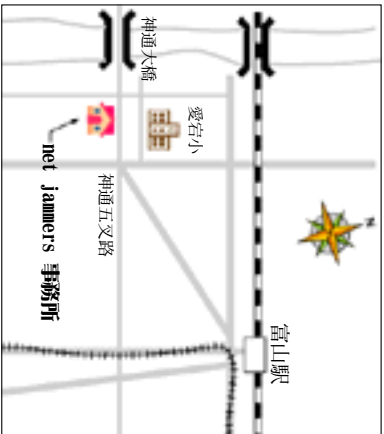
その作業に協力してくれる人を求めています。

## 「ジャマーズ だらだら 大行進」計画中

「東京マラソン 首都大封鎖 3万人快走」——2月19日のある新聞の朝刊の見出しだ。それを目にしたとたんに「ジャマーズマーチ 首都大封鎖 3万人暴走」と、それをくると反転させる幻覚がやってくる。

幻覚は一瞬にしてさめるが、その幻覚は身体の中に居座ってなかなか消えていかない。幻覚が消えないうちに「ジャマーズだらだら大行進」の計画を進めたい。——かの有名な「失業と社会的地位の不安定化に反対して、社会的ヨーロッパを求めろヨーロッパ大行進」などと比べようもないが、ジャマーズが3人もいれば、街頭の表面をくると反転させる「ミニニニ大行進」は可能だ。

## アクセス



富山駅より徒歩 10分